



家内安全など願い事をする参拝者

商売繁盛・家内安全を祈願 広谷えびす大祭に多くの参拝者

えべっさんの愛称で親しまれている「広谷えびす大祭」が1月10日、総本社・西宮神社の直系にあたる広谷えびす神社周辺で行われました。

これは、商売繁盛や家内安全の福を受けてもらおうと広谷区が主催しているもので、境内には朝早くから多くの参拝者が訪れ、景気上昇を願い福笹やお札などの縁起物を買って求めています。

また、広谷ふれあいセンターでは、毎年恒例の大福引きが催され、大いに盛り上がった祭となりました。

まちの話題

大綱に願いを込める 伝統行事「別宮のお綱うち」

豊作と地区の繁栄を祈願する伝統行事「別宮のお綱うち」が1月9日、同区内で行われました。

この行事は150年以上前から続いていると言われており、早朝から持ち寄った藁を使って、男性が掛け声に合わせて長さ約20尺、直径約30センチの大綱を編み込みました。その後、正月前から降り積もった雪上で、出来上がった大綱を村の上組と下組に分かれて7回引き合いました。

今年の農作物のできを占いました。

最後に、大綱を区内にある大ケヤキに掛け、豊作と家内安全を祈りました。



息を合わせて大綱を編み込む別宮区のみなさん

天のめぐみに感謝

小佐小学校で赤米収穫祭

赤米の収穫に感謝し、地域の方たちとの交流を深めようと1月15日、小佐小学校で恒例の赤米収穫祭が開かれました。

平城京の発掘調査で、小佐地区から赤米を献上したことを示す「木簡」が出土したことをきっかけに、同小学校では15年前から地元の水田を借りて赤米づくりをしています。

収穫祭では、1～4年生が「赤米うどん」、5・6年生が「赤米餅」をそれぞれ担当し、保護者や地域の方たちに教わりながら作りました。出来上がった料理を参加者全員で味わった後、校区内の独居高齢者のお宅にも手紙を添えて届けました。



収穫したお米を使って餅つきをする児童ら